

新しい商品を登録する方法

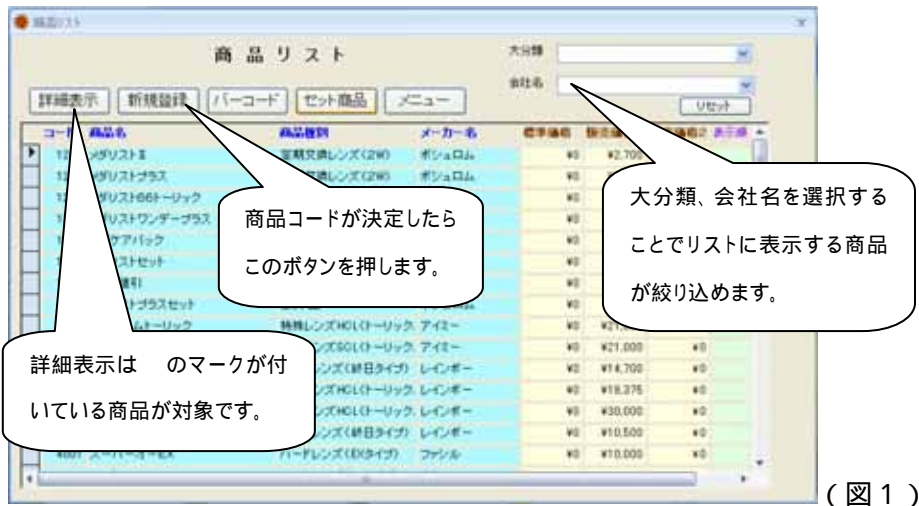
1 : はじめに

登録する商品はケア用品などもすべてコードで分類されます。コードは数値で表現します。すでに登録されている商品コードは使えません。また商品名の変更の場合、登録されている旧商品のコードをそのままにして、商品名を新しい商品名に変更して登録すると、過去の旧商品販売データがすべて新しく変更した商品名に変わりますので、問題がある場合は新しいコードで登録して下さい。なお価格の変更は過去の販売データには反映しません。

2 : 商品コードの割り当て

まず使用されていない商品コードを探し新しい商品に割り当てます。メニューから[マスター登録] [商品]を選択します。「商品リスト」画面(図1)が開きます。現在使用されていないコードを登録する商品のコードに決定します。(4桁の数値で商品コードを設定されている場合は1桁目がメーカーコード、2桁目が商品種別、3~4桁目がアイテムごとのコードなどと基準を決めて登録されている場合がありますので、その基準に従って割り当ててください。)

コードが決定したら「商品リスト」画面の[新規登録]ボタンを押します。「商品マスター」画面(図2)が開きます。



(図1)

3 : 商品マスター登録

[商品コード]の欄に決定した商品コードを入力します。登録項目はすべて入力して下さい。[定価]、[販売価格2]などで価格が不明な場合でも空白にせず0を入力して下さい。[商品名]は他商品と区別がつくように、短く簡潔に登録して下さい。(ワンデーキュービューデファインなど長い商品名はデータ登録画面では表示が欠けますので1DAQVデファインなどと略語を使用されると見やすくなります。)

[販売価格2]はデータ登録画面の割引価格で表示されます。[納入価格]は粗利集計を

する場合は入力して下さい。それ以外は¥0でもかまいません。
すべての項目を入力後必ず〔登録〕ボタンを押して下さい。登録後は「商品リスト」画面に表示されます。

The screenshot shows a web-based form titled '商品マスター' (Product Master). The form contains the following fields and controls:

- 商品コード** (Product Code): Text input field with a callout: "決定した商品コードを入力します。" (Enter the determined product code.)
- 商品名** (Product Name): Text input field.
- 商品種別** (Product Type): Dropdown menu.
- メーカー** (Manufacturer): Dropdown menu.
- 定価** (List Price): Text input field.
- 価格1** (Price 1): Text input field with a callout: "価格が不明な場合は¥0 - を入力してください" (If the price is unknown, please enter ¥0 -).
- 価格2** (Price 2): Text input field.
- 納入業者** (Supplier): Dropdown menu.
- 納入価格** (Supplier Price): Text input field.

At the bottom of the form are several buttons: 登録 (Register), 訂正 (Correct), 削除 (Delete), リスト (List), Excelから (From Excel), クリアー (Clear), and 戻る (Back).

Callouts provide additional instructions:

- Pointing to the registration button: "すべての項目が入力できれば〔登録〕ボタンを押します。" (If all items can be entered, press the [Register] button.)
- Pointing to the Price 1 field: "価格が不明な場合は¥0 - を入力してください" (If the price is unknown, please enter ¥0 -).

(図2)

4：商品マスターの変更・削除

「商品リスト」画面で変更・削除する商品の左端の部分をクリックします。(選択状態になると のマークが表示されます)そして上の[詳細表示]ボタンを押します。

「商品マスター」画面に商品データが表示されますので、訂正の場合はデータ訂正後[訂正]ボタン、削除の場合は[削除]ボタンを押します。「商品リスト」画面で訂正・削除されたことを確認して下さい。

5：セット商品の登録

セット商品もまずセット品名をレンズ単品と同じように商品コードを割り当て「商品マスター」画面で新規登録します。このとき〔商品種別〕をセット品で選択します(定期交換レンズなどレンズの種別は選択しないでください)。またセット組みするレンズとケア用品も商品マスターで登録します。ケア用品は〔商品種別〕をソフトケア用品またはソフトケア用品で登録します。セットにケア用品を組み込まずレンズ2枚のみでセット割引する場合は、「セット値引」という名前の架空ケア用品を商品登録してください(セット値引きの方式は、レンズ価格は通常価格と同じ価格で販売し、ケア用品で割引するため値引きの受け皿として必要)。

商品マスター登録が終了すれば、「商品リスト」画面の[セット商品]ボタンを押し「セ

バーコードデータの登録方法

1：利用バーコードについて

現在発売されているコンタクトレンズにはバーコードが記載されていますが、バーコードの種類は大きく分けて通称1次元バーコードと2次元バーコードがあります。



1次元バーコード(EAN)



2次元バーコード(QR)

バーコードをバーコードスキャナーで読んでベースカーブやパワーなどのコンタクトレンズデータ登録に利用する場合1次元バーコードの場合はバーコードとレンズデータの変換表が必要になります。

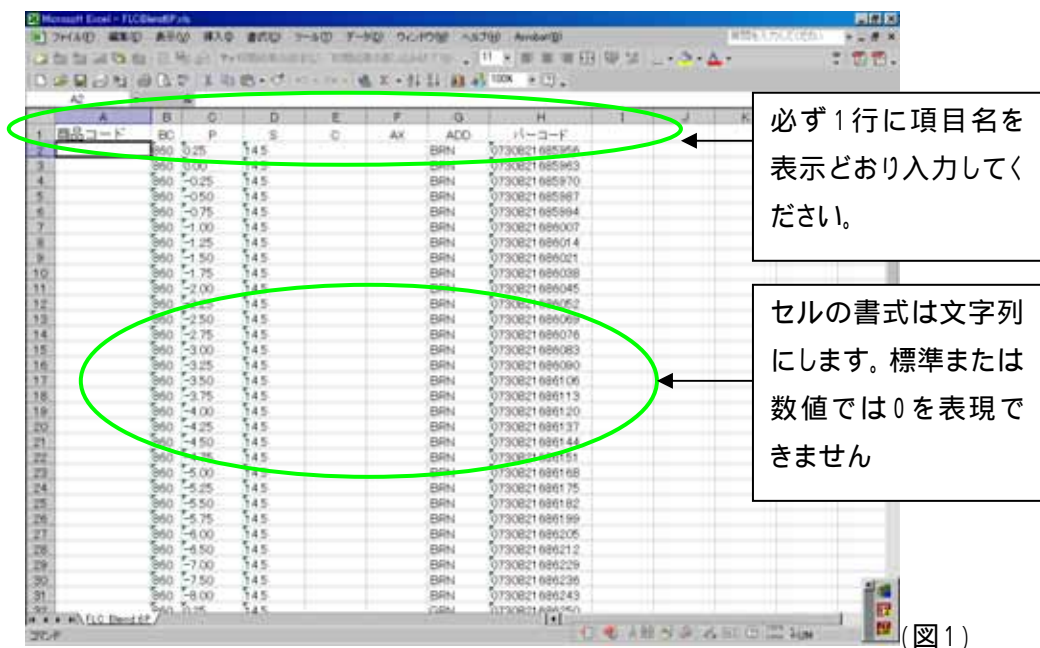
2次元バーコードの場合はバーコードの中にレンズデータが記載されていますので変換表は不要です。またケア用品などは単品でコードが固定されていますので、変換表は不要です。

2：変換表入手方法

バーコードとコンタクトレンズデータ変換表はそのレンズのメーカーから入手できます。事前にこちらで入手している変換表は EXCEL の表として「桜」「紅葉」「向日葵」をインストールするときに合わせてインストールしています。インストール先は「桜」、「紅葉」、「向日葵」それぞれのアプリケーションがインストールされているフォルダ(通常はローカルディスク C: ¥に「桜」、「桜紅葉」または「向日葵」というフォルダ名)の中に「Barcode」というフォルダ名でインストールされています。そこにインストールされていないレンズの場合はメーカーから入手するか、サンコンタクトレンズへご相談ください。

3：変換表作成方法

ご自分でメーカーから変換表を入手された場合は、「桜」「紅葉」「向日葵」にインポートできる形式にフォーマットを変更していただく必要があります。まず項目名は「バーコード」「商品コード」「BC」「P」「S」「C」「AX」「ADD」と EXCEL のシートの1行目の各セルに記入してください。そしてその下の行にバーコードとそれに対応する BC や P を書式は数値ではなくすべて文字列として入力してください。このとき BC は在庫管理表の関係から 8.7 や 9.0 という表現ではなく 870 や 900 としてください。また P は -2.00 とか -3.50 という文字列にすると動作時体裁よく表示されます。カラーレンズの色を登録される場合は ADD の項目に略語で記入してください。ブラウンの場合は「BRN」サファイアの場合は「SPH」など半角英数5文字以内でお願いします。(図1参照)



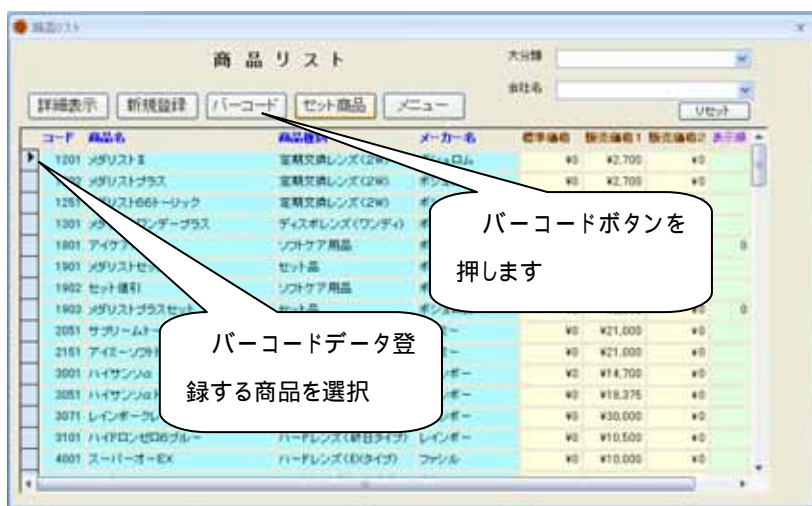
(図1)

4：変換表保存場所

作成された変換表またはこちらからお送りした変換表は、「桜」、または「桜紅葉」、「向日葵」のいずれかのフォルダの「Barcode」フォルダの各メーカーのフォルダにコピーして貼り付けてください。

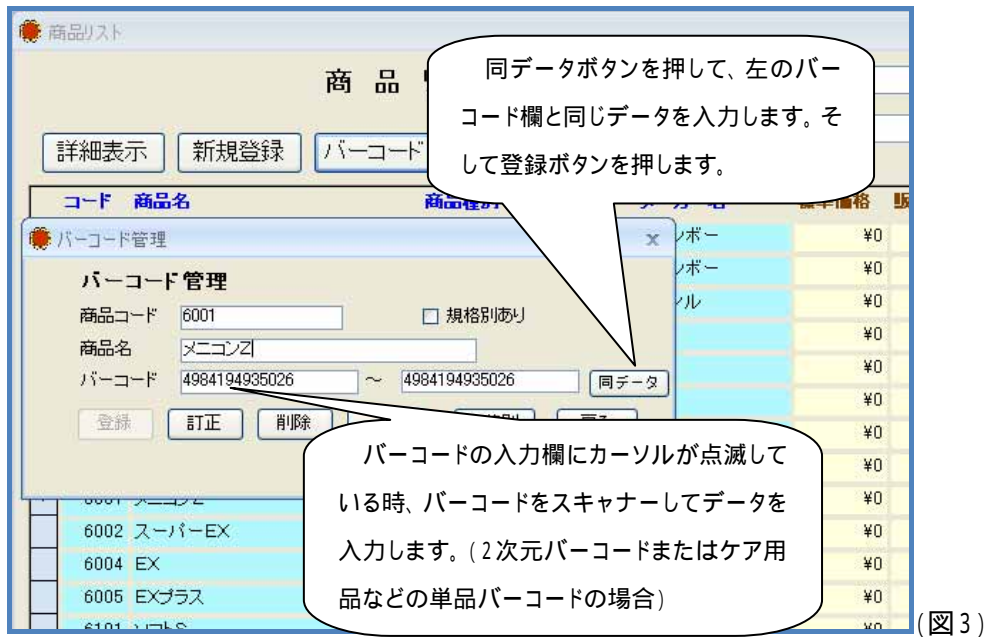
5：バーコードデータ登録方法（2次元バーコード、ケア用品1次元バーコード）

まず商品マスター登録画面で商品コードを作成します。次に商品マスター一覧からバーコードデータ登録する商品を選択しバーコードボタンを押します。(図2)



(図2)

バーコード管理画面が開きますので、2次元バーコードまたはケア用品などの単品の1次元バーコードの場合はバーコードの入力欄にカーソルが点滅している時、直接2次元バーコードまたは、一次元の JAN コードを読みます。(図3)



(図3)

6 : バーコードデータ登録方法 (1次元バーコード変換表のある場合)

5 : と同じく商品マスターで商品コード、商品名など登録し商品マスター一覧からバーコードデータを登録する商品を選択してバーコードボタンを押します。(図2)

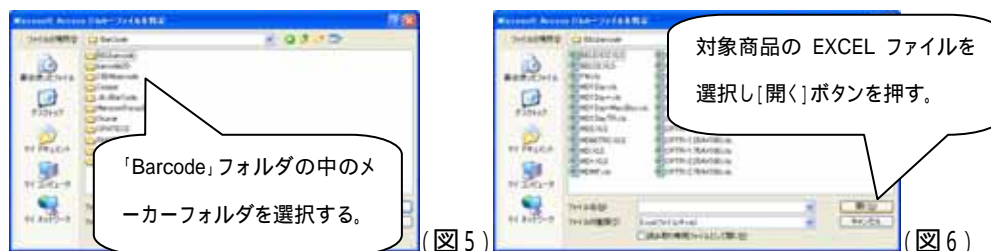
「バーコード管理」画面が開いたら「規格別」ボタンを押します。「レンズ規格範囲初期登録」画面が開きますので、「Excel から」ボタンを押します。(図4)



(図4)

開いた「ファイルを開く」画面の中に「Barcode」というフォルダを探しそれをダブルクリックします。開いたフォルダの中に各メーカーのフォルダがありますのでそのレンズのメーカーフォルダを開きます(図5)。そして開いたメーカーのフォルダの中にバーコードデータ

をインストールする商品名の Excel ファイルを探し開くボタンを押します。(図6)



インポートが始まりしばらくすると「インポートを終了しました。」と表示されます。(エラーが表示された場合は[注意]をご覧ください)「OK」ボタンを押しそれぞれの画面の「戻る」ボタンを押して画面を閉じればこの商品のバーコードデータ登録が終了します。(図7)



他の商品もあれば同じ操作を繰り返します。

【注意】

エクセルのバーコード表の空白列に空白のデータがあるとインポート時「F9フィールドにはデータがありません」とエラー表示されインポートできません。この場合は直接マイコンピュータからローカルディスクCを開き、その「桜」または「桜紅葉」または「向日葵」のフォルダを開き、その中の「Barcode」フォルダを開き、エラーになるメーカーのフォルダを開き、エラーの商品のエクセルシートを開いてデータの無い左から9番目以降の列(図1の[から右]3～4列を列削除してください。そして上書き保存してからフォルダを閉じもう一度インポート操作をしてください。

また空白行に空白データがあると「件のデータが失われました……」と表示されますがかわず「はい」のボタンを押しますとインポートできます。

7：登録済みのバーコードを追加または変更する場合

商品の製作範囲が拡大した場合やメーカーの都合でバーコードが変更になった場合に、登録されているバーコードを追加または変更する必要があります。この場合は一旦登録

